## 理科 年間指導計画 第2学年 広島市立瀬野川中学校

配当月	単元	時数	主に学習すること	学習の目標	評価の 観点
4 🖂	[地球]	28	ダイナミックな霧	霧や雲ができるしくみや、風や天気変化などの身近な気象のしくみ	1
4月	地球の大気		「肱川あらし」	について興味をもつ。	
(11)	と天気の変		空気中の水の変化	霧、雲、雨や雪が、水の循環の一部であることを認識するとともに、	1, 2, 3, 4
	化			空気中の水の変化について理解する。	
5月 (13)				空気中の水蒸気の量を考え、露点や湿度を求めることができる。	2, 4
			天気の変化と大気の	大気の動きを立体的に考え、大気の動きが天気に関係していること	1, 4
			動き	を理解する。	
			大気の動きと日本の 四季	日本の天気と四季の特徴を気団と関連付けて理解する。	1, 4
	[物質]	32	銀をつくる粒子	物質が何からでき、どのように変化するのかということに関心を持	1
6月	化学変化と			っ。	
(16)	原子・分子		物質の成り立ち	物質の分解から、物質をつくっているものは何かということに興味・感心をもつ。	1, 2, 3, 4
				   物質は原子や分子からできていることを説明できるようになる。	4
			物質を表す記号	   化学変化は原子や分子のモデルで、化合物の組成は化学式で表現で	2, 3, 4
7月				きることを理解する。	
				│ │ 化合によって、異なる物質が生成すること、化学変化は原子や分子	2, 3, 4
(8)				のモデルで説明でき、化学反応式で表されることを理解する。	
			さまざまな化学変化	酸化や還元が酸素の関係する反応であることを理解する。	3, 4
8, 9			化学変化と物質の質	   化学変化には熱の出入りが伴うことを理解する。	3, 4
月 月			量の規則性	化学変化の前後で質量の総和が等しいこと、反応する物質の質量の	2, 3, 4
(15)				   間には一定の関係があることを理解する。	
(10)	[生命]	43	生物とは何だろう、	動物と植物の共通点,違う点を見出す。	1
	動物の生活		動物とはどのような		
10 月 (16)	と生物の進		生物だろう		
	化		生物の体と細胞	植物細胞、動物細胞の基本的な特徴を理解する。	1, 3, 4
			生命を維持するはた	│ │必要な物質を取り入れ運搬している仕組み、不要となった物質を排	4
			らき	出する仕組みについて理解する。	
11 🗆			感覚と運動のしくみ	感覚器官,神経系及び運動器官のつくりとはたらきを理解する。	4
11月			動物のなかま	動物の体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較、整理し、いく	1, 2, 3, 4
(16)				つかの仲間に分類できることを理解する。	
			生物の移り変わりと	現存の生物は過去の生物が変化して生じてきたものであることを	1, 4
12 月			進化	体のつくりと関連付けて理解する。	
(10)	[エネルギ	0.7	最与の光上に、光春	送電線のしくみや電気の利用について考え、電気の学習に対する興	1
	· ·	37	電気の道すじ〜送電		1
1月	一] 電法の批所		線~	味・関心をもつ。	0 0 4
(12)	電流の性質		電流の性質	電圧と電流の関係について規則性を見つけ、実験機器の操作や実験  は異の加理について理解する	2, 3, 4
2月	とその利用			結果の処理について理解する。	0.0.4
(15)				電力の違いによって発生する熱や光の量に違いがあること理解す	2, 3, 4
(10)			最次の工化	数最后の地質の古かれ最の細索よと、最次の工化にのいて細細土	1 0 4
3月			電流の正体	静電気の性質や真空放電の観察から、電流の正体について理解す	1, 3, 4
(8)			<b>震法</b> 1. 茂田	る。 原法 L 英田 の相互 佐田 Iz の L 女 四 株型 ナフ	0.0.4
	<del></del> 時間粉140		電流と磁界	電流と磁界の相互作用について理解する。 こ、音楽、能度 2.科学的田老 2.粗密、字殿 4.加熱、理解	2, 3, 4

総授業時間数140時間 ※評価の観点 1関心・意欲・態度 2科学的思考 3観察・実験 4知識・理解